

郵便はがき



〒四二六-〇〇二五
藤枝市藤枝四一七
大慶寺 大場正昭
FaxTel 〇五四-六四一-二二九
〇五四-六四四-六二六
ohba@enmyozan.org

29年度護持会費納入のお願い

日頃より大慶寺護持にご理解とご協力を賜り、平成28年度も滞りなく護持会を運営することができました。28年度は、宗祖降誕八〇〇年の特別賦課金があり、多額の支出となりましたが、繰越金等で賄うことができました。詳細は3月発行の「護持会報」でご報告致します。

さて、平成29年度（1月1日～12月31日）も、例年通り地震・火災保険、宗派課金、八〇〇年賦課金等で多額の支出が予定されています。できましたらお早めのご納入をお願い申し上げます。

藤枝市の高橋正樹様、深澤一夫様、中村知弘様、焼津市の杉原利彦様、小野田滋様、島田市の藤原總一郎様、坂本勝志様、羽下隆様、坂本厚様、石神弥寿夫様、神奈川県のと悦子様、千葉県の渥美元治様から法話箋のお葉書代を頂戴致しました。篤くお礼申し上げます、法話箋作りの資とさせていただきます。

別世帯の子供、お孫様等にも法話箋をお届け致します。申し込みは寺まで。

安堵 年越し水行

1月の一通りの行事が終了した。特に年越し水行が、無事終えてホッとしている。と言うのも、当初今年の水行は、大丈夫かと心配になったのである。

今回の参加者は12名。その内訳は女性3名、外国人1名、69才の最高年齢者1名、そして常連さん等7名。

特に69才の参加希望者には、ご返事に窮した。確かに、今の時代69才でも、身体的に若い方はたくさんいらっしゃるが、それでも年相応の抵抗力や体力の衰えは否めない。申込要項にも、「すべて自己責任でお願いします」との一項を加えているが、もしもの場合を考えると心配だ。

しかし、一方では70才を直前にしてのチャレンジには敬意を表したい気持ちもある。

聞けば、一ヶ月前から、お風呂で水をかぶり、水行に備えていたという。となると益々断りにくい。そして、更にお医者さんにも相



談し、大丈夫のお墨付きを頂いているという。これではもう断る理由がない。そこで晴れて参加して頂いたが、無事終わるまでは何かと心配になった。当日は、午後11時40分に除夜の鐘を突き、着替えをし、零時から1座目と2座目に分かれて年越し水行。愈々69才の登場だ。客殿から水取りの白衣を着て出てくると、自然と人が取り囲む。その中で水行。心配しきりで見っていたが、69才、堂々と水をかぶり終えた。

写メを撮る人、ビデオを撮る人、スマホで「早く来い」と連絡する人等ギャラリイは様々だ。その中、意気揚々と客殿に帰って来た。

一連の光景を少し離れたところから見ていたが、古来より受け継がれてきた伝統ある水行を行っている一方で、スマホ等の情報機器を駆使している時代の混合。安堵と共に時代の流れについてくのはこれまた大変だと一抹の不安。